

旭陵関西

発行人
旭陵同窓会関西支部長
上村 繁典
印刷所 富士精版印刷株式会社
TEL. 06-6394-1181

還暦の新任支部長



旭陵同窓会関西支部長
上村 繁典
(48期)

旭陵同窓会関西支部の会員の皆様、平素は同窓会の活動に對してご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。人生の一区切りである還暦を迎えたこの時期に杉前支部長より直接のご指名を頂戴し未熟ながら関西支部長を務めることとなりました。役員共々変わらぬご支援を宜しくお願いいたします。経歴を若干ご説明します。本村小から彦島中、西高では3年から好きであったバスケット部に入学、大学はバドミントン部卒業。昭和50年3月30日、私は銀行、家内は百貨店に就職すべく2人で下関駅を発ち未知の地である大阪に向かったのを覚えています。両親を下のに残したままの新たな旅立ちでした。時が過ぎ、10年前に現在の菓子会社に就任し、今は経営者として悪戦苦闘中です。

この間同窓会の幹事として総会、ハイキング、カニカニ旅行、ゴルフ等を通じて西高諸先輩方とお話する機会に恵まれました。どの先輩も驚くことのない高い見識と専門知識を兼ね備えた。照一隅、此即国宝の方々ばかり。天下第一関のもと自主を重んじる西高の気風がもたらした人間性を感じています。しかし、大分の進学校U高出身

PM2.5に関心を



旭陵同窓会会長
木下 毅
(37期)

平成25年度旭陵同窓会関西支部総会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。皆様のご支援で同窓会長を二期務めさせていただきます。体調はまずまずなのですがもう少し続けようと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

下関西高は2019年に創立

新任のご挨拶



山口県立
下関高等学校校長
田坂 祐治

旭陵同窓会関西支部の皆様には、御健勝にて御活躍のことと心からお喜び申し上げます。同窓生の皆様方には、平素から本校の教育推進に格別の御理解と御支援をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

私は、このたびの人事異動により、御退職されました旭陵同窓生でもある中村芳喜前校長の後任として着任いたしました。本校は平成31

擽(頭を深く下げる)が出来る。②掃除を行う習慣(親の躾による)③読書家④目に見えない影(苦勞、コンプレックス等)を感じる人、このことです。悟りを開く世界に身を置く方の現世の生き方でしょう。

同じ故郷で多感な思春期を過ごした皆様が、集い、楽しく語り合う総会に、是非ご出席いただきますようお願い申し上げます。

100周年を迎えます。今年2月に100周年実行委員会が発足し私が当面実行委員長を務めることになりました。今後いろいろお願いする事ばかりになると思いがよくよくお願いいたします。

個人情報保護法の関係で一時中断していた名簿を発行することになりました。新卒業生の把握も学校で行っていただくことになりました。関西支部の皆様にもご協力よろしくお願いいたします。

今、PM2.5が中国から流れ出てくる大騒ぎをしており、環境省は注意喚起をする濃度を「大気1立方メートルあたり1日平均70マイクログラム」という暫定指標を定めま

年には創立百周年を迎え、これまで「天下第一関」を精神的な支柱として、脈々とその歴史を刻んでこられ、国内外を問わず、各界で指導的な立場で活躍されている多くの卒業生を輩出してこられた歴史と伝統を誇る山口県内有数の高等学校であります。今、あらためて身が引き締まる思いと大きな責任を感じておるところであります。

さて、昨年度も生徒たちは学業に部活動に全力で取り組んでくれました。運動部では陸上競技部や水泳部が、文化部では囲碁・将棋部や書道部が全国大会に出場活躍いたしました。

また、今春の大学入試では、国公立合わせて104名が合格いたしました。特に旧帝大に神戸大を合わせたいわゆる難関大学現役合格者は、3年ぶりに20人台を回復いたしました。さらに、医学部医学科については、現役・既卒を合わせて延べ16名が合格いたしました。在校生には、今一度「天下第一関」天下第一の関中たれと原点に立ち返って頑張るよう鼓舞していきたいと考えております。同窓生の皆様には引き続き、御指導、御鞭撻よろしく申し上げます。

した。一方タバコからもPM2.5は出ています。部屋で換気せず吸うと数値が400(800)程になるといわれています。この際PM2.5に関心を注ぐとともに禁煙を勧めたらどうでしょうか。

政権が代わってから少し日本に元気が出そうなき感じになってきました。各界で山口県人が多く活躍されています。その中には旭陵同窓生もたくさんいらっしゃいます。明治維新をやり遂げた人々の血を受け継いでいる山口県人への期待が大きいのです。ここで旭陵同窓会の皆様が一肌脱いではいかがでしょうか。

関高 平成25年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

- 日時: 平成25年9月1日(日) 10:30~15:00
- 場所: 大阪弥生会館 大阪市北区芝田2丁目4-53 ☎06-6373-1841 (JR大阪駅、阪急梅田駅、地下鉄梅田駅より徒歩5分)
- 来賓: 木下同窓会会長、本部役員、田坂西高校長
- 会費: 8,000円(家族3,000円、80期以降2,000円)
- 式次第: 10:30~11:00 総会
11:00~11:10 下関市長挨拶
11:10~12:30

特別講演 山下 晋司氏『東京大学名誉教授』

- ◆演題◆ 『まなび旅のススメ—観光人類学からのメッセージ』
- ◆要旨◆ 東日本大震災以降の新しい観光のあり方(とくにボランティアツーリズム)について、観光人類学の立場から考える。

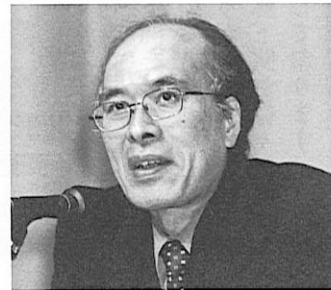
12:40~15:00 懇親会

- ※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。(ご家族の参加も歓迎)
- ※つり銭のいないようご準備下さい。
- ※なお、同封書にて出欠の連絡を7月31日までお願いいたします。(欠席の場合も名簿整理上必ず返信をお願いします。)
- ※回答後、出欠等の変更がある場合は、事務局まで必ず連絡して下さい。

「旭陵同窓会関西支部」ホームページ <http://page.freett.com/kyokuryo/index.htm>



軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい



山下 晋司氏 略歴
1967年下関高等学校卒業。
1973年、東京大学教養学部教養学科文化人類学専攻卒業。
2012年紫綬褒章受賞
帝京平成大学教授・東京大学名誉教授
専門は文化人類学。グローバルな人の移動という視点から観光や移住を取り上げ、新しい社会の展開や文化の生成について研究している。著書に、『パリ—観光人類学のレッスン』(東京大学出版会)、『観光人類学の挑戦—新しい地球—の生き方』(講談社)。

平成24年度総会の状況

若い世代に同窓会の楽しさを

当番幹事 金谷 睦子(59期)



9月に入っても、まだまだ猛暑の続く中、第19回旭陵同窓会関西支部総会に百名を超える方々にお集まりいただき、また、下関からも来賓の方々の参加をいただき盛会のうちに終了できましたこと、担当幹事として心より感謝申し上げます。

今年の当番幹事は私の59期が担当で、早くから同期を探しては参りましたが、結局総会当日までに見つかりませんでした。支部長をはじめ関西支部役員の皆様方に多大なるご迷惑とご心配、ご負担をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

さて、1部の総会に引き続きまして、2部の特別公演では私の主人、金谷こうすけ率いるピアノトリオ「THE NEXT MOVE」と関西若手ナンバー1ボーカリスト宮藤晃妃さんによる演奏をお聞きいただきました。私自身、久々に大勢の方の前で司会や進行を担当して大変緊張をしていたのですが、その上、自分の主人の演奏を皆様の前で披露させていただくことの照れや、戸惑いなど、様々な思いが入り乱れ、今思い出しただけでも冷や汗がでるような一日でした。当初2部の特別講演を完全に終了してからの3部の懇親会に入る予定でしたが、やはり、JAZZ演奏ということも

下関市定住の促進



金山 俊之 (51期)

下関市役所で企画課長をしております。昨年は旭陵同窓会関西支部同窓会に参加させていただきましたことがとうとうございました。東京支部総会にも出席させていただきました。総会に、どちらも西高ならではの自由で独立精神旺盛な校風を活かしながら、それぞれ東京ならではの賑やかさ、関西ならではのアットホームな親しみやすさが感じられ、西高出身であることをあらためて誇りに思いました。

また、今回は、ふるさと下関を応援するふるさと納税のお願いのために出席させていただいたので、関西支部の皆様には東京支部の4倍にもなる温かいご寄附をいただき、誠にありがとうございました。下関市では今、全国平均を上回るペースで少子高齢化・人口減少

アレンジされたリングゴ追分を宮藤さんが素敵な声で唄っておられたのが印象に残っております。そういう意味では『美しき日本の唄をジャズで』というテーマどおりの講演だったという総括でよろしいでしょうか(笑)。

ところで、2部の途中からの懇親会は時間を追うことに盛り上がり、あつというまに過ぎました。恒例の福引抽選会で豪華景品の争奪戦を繰り広げたあとは、懐かしい応援歌や校歌を全員で熱唱。最後に記念撮影を無事に終え閉会となりました。

今年で50歳を迎える学年が若手

といわれているのが関西支部の現状です。若い世代にこの会に参加することの意義や楽しさを伝えて行くことが今後の課題です。私自身この関西支部の役員として関わらせていただくことで、まだまだ人間としての成長もさせていただこうと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

初めて総会に出席して

井出 健介(53期)

私は関西に転勤してきて12年ながら、同窓会の行事には初めての参加という不真面目な同窓会員でしたが、楽しい一日を過ごすことができました。当日は、御来賓の挨拶に続き、金谷こうすけ氏によるジャズセッションが披露されました。

相当額の助成金を10年間交付する制度を新設いたしました。ふるさと下関へUターンを考えておられる方、移住を考えておられる方がいらつしやいました。是非ともこの制度をご案内いただいて、下関市への定住促進にご協力いただければ幸いです。詳細は、下関市役所企画課(083・231・1911)まで。

以上会っていかなくともすぐに昔と同じように語らい酒を酌み交わすことが出来て、やはり故郷の高校時代の友人はいいものだ、と感じました。

関西支部総会は日程の都合で中々参加することができませんでしたが、今回初めて参加させていただきました。その規模の大きさに驚きました。故郷下関を遠く離れた大阪の地でこんなにも盛大に同窓会が行われているとは思ってもみませんでした。大変感激しました。年代を超えた下関西高OBの絆の強さも感じました。総会・講演会・懇親会とあつという間に時間が過ぎまし

下関西高OBの絆の強さを感じた総会



岩崎 博美 (56期)

はじめまして、京都に単身赴任中の岩崎と申します。現在家族は東京に住んでおります。

平成21年11月に転勤により京都の支店勤務となりました。その際に関西地区在住の同期のメンバーに声をかけてもらい、久しぶりに会うことが出来たのですが、30年

たが、金谷こうすけ氏の「美しき日本の唄をジャズで」も素晴らしい、本当に聞き入ってしまった。次回も是非参加したいと思っております。

さて、下関には年に一回帰省する位ですが、自分達が過ごした高校生時代に比べてもう一つ活気が感じられないのは気のせいでしょうか? こうやって同窓会に出席しても、地元下関を離れ大阪や東京に出てきている方々が多いことも原因でしょうか?是非、母校下関西高校と故郷下関が益々発展することを祈念しております。

届けたい、お菓子という夢。

Making Communications Together
MACOTO 誠菓子食品総合商社
株式会社 誠商会

〒578-0957 東大阪市本庄中2-1-2

TEL 06-6748-3838

代表取締役CEO 上村 繁典(48期)

大阪梅田でのご宴会・ご宿泊は

(最大120名様) (全80室)

大阪弥生会館

〒530-0012

大阪市北区芝田2-4-53 (大阪駅中央北口より北へ徒歩約5分)
グランフロント北館隣

TEL 06(6373)1841

HP <http://www.jrwelnet.co.jp/shisetsu/yayoikaikan/>



金谷こうすけ氏



宮藤晃妃さん

平成24年度 第19回総会

於:大阪弥生会館
平成24年9月2日(日)



杉支部長挨拶



演奏風景



木下同窓会本部会長挨拶



中村校長挨拶



中村校長と同級生



懇親会



抽選会



乾杯



全体写真



全体写真



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



2次会にて校歌を斉唱



校歌斉唱

支部行事報告

秋のハイキング 紅葉の大原散策

杉 顕紹(43期)

恒例の同窓会関西支部の秋のハイキングは11月18日「京都大原散策」でした。

大原の里は古くより都の貴人や仏教修行者の隠棲の地として知られ、現在でも「京都、大原、三千院、恋に疲れた女がひとり」と歌詞にもあるように京の喧騒を離れた地として四季を通じて訪ねる人の絶えない人気のある場所です。

午前中はその三千院を拝観しました。8世紀に起源を持つ天台宗の門跡寺院、緑の苔の上に一面に降り落ちた紅葉。見上げれば黄色や赤に色づいた紅葉、深まりつつある秋を満喫しました。

昼食は、土産物や土産物を売る店が並ぶ参道から少し外れたコスモス畑の前で弁当を広げました。例によって持ち寄ったおかずやおやつ、飲み物を交換し合いながら、ワイワイ、ガヤガヤといつもながらの楽しいひと時でした。

昼食後はほろ酔い加減でしたが、寂光院を拝観しました。寂光院は聖徳太子が開基者と伝えられる古いお寺ですが、なによりも平清盛の娘、安徳天皇の生母である建礼門院徳子が壇ノ浦の戦いの後に隠棲された場所として知られています。そんな広い境内なのですが、ここも一面の紅葉でした。後に後白河法皇が徳子を訪ねられる「平家物語」の一段を思い浮かべさせるたたずまいの境内でした。

思い返してみると、このハイキングは2002年の春にスタートし、以来、11年間一度も欠かすことなく春、秋に開催されてきまし



音無の滝



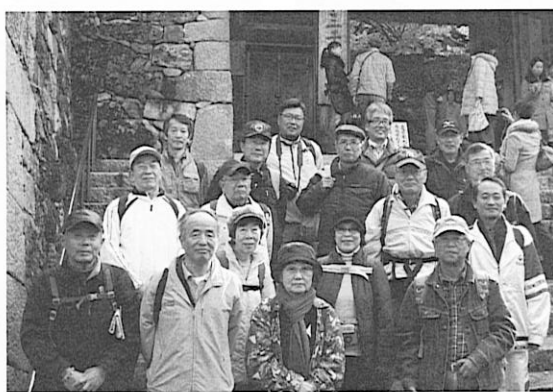
賑わう大原の里



三千院を目指して歩く

た。ハイキングの行事がうまくいくかどうかというのは、幹事による内容の企画と下見を含めた準備にかかっていると思います。(もちろん当日の天候も大事でしょうがこれはいかんともしがたく、降雨への対応の「準備」が肝心となります)

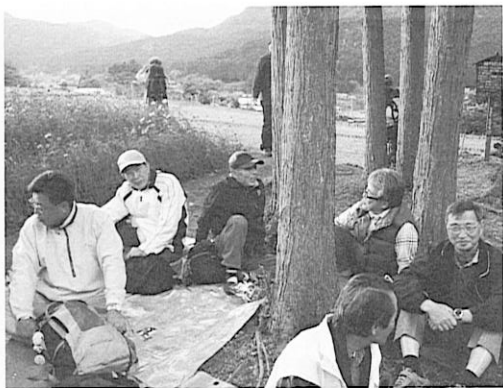
いつもご尽力いただいていた42期の末光さんが去る3月15日に亡くなられました。大原を散策した秋のハイキングでも末光さんご持参の漬物をみんなでいただきました。末光さんがご自身で育てられた野菜を使った漬物で、ハイキングの参加者が「いつものおかず」として楽しみにしているものでした。末光さんの笑顔は、ご自慢の漬物の味とともに忘れることができません。有難うございました。



三千院門前にて



昼食風景



昼食



コスモス畑のそば寂光院を目指す



紅葉の寂光院

秋のゴルフ 最大ハンデに 支えられた優勝

木原 多佳雄(43期)

旭陵同窓会関西支部ゴルフコンペは、先輩や後輩の方々と競い合いや語り合いを通して親しくなる良い機会となっています。

また、ハンディホールを阿弥陀くじで決める変則ダブルペリア方式で行われることもあり、スコアが悪くても優勝が転がり込むこともあるなどエキサイティングなイベントとなっています。

平成24年10月に行われた今回の第25回大会は、6名の参加となる最小の大会となりました。少人数

の大会のため、従来の変則ダブルペリア方式を採用せず、ゴルフ場の指定するダブルペリア方式で優勝を争うこととなりました。

ダブルペリア方式となるとスコアの悪い者が有利とされるため、いつも80台で回る熊野氏が優勝するのではないかと予想していました。しかし、結果的には、36のハンディとなった小生が0・4打差でハンディ17・6の熊野氏に勝つことができました。

同じネットスコアの田底氏は年齢により2位に、また、上村氏は惜しくも0・2打差の3位、5位も1打差となるなど、非常に接戦となった大会でした。

最近の大会の状況は、常連であった諸先輩方が体の不調などを

理由に参加を控えられ、参加者が激減し、寂しい大会となっています。

そのため、幹事役の方々も平日開催など参加しやすい工夫を考えておられるようです。

どうか皆様の参加をいただき、和気あいあいとした楽しい大会を取り戻したいものです。



左から3番目木原さん

Coffee & Jazz

カフェミント

～ジャズと美しい映像の流れるお店～

〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5-2 新サンケイビルB1

TEL 06(6341)5047

カフェタイム 11:00～18:00(土日祝休業)

パーティタイム 18:00～22:00

金谷 睦子(かなたにちかこ)(59期 旧姓 浜岡)



万が一ガスが漏れたとき、ガス漏れ検知警報器が発報しなかったら、大事故につながります。警報器の点検整備は当社にお任せください。

有限会社 西村電機サービス

取締役会長 西村 勲 (33期卒業)

〒599-8253 大阪府堺市中区深阪548

TEL(072)236-9508 FAX(072)230-2204

携帯 090-1447-8368

URL: <http://www.nds-mente.co.jp>

E-mail info@nds-mente.co.jp

ご家庭からコンビニートまで明日の安全を見つめています。

春のハイキング

大和三山登山

矢野 雅子(36期)

4月14日、少し汗ばむ程の陽射しの中、大和三山めぐりに参加しました。当日の参加者は13名。

大和三山とは万葉集にも歌われた「耳成山、天香山、畝傍山」のこと、それぞれ139m、152m、199mの比較的低い山々で、それぞれに由緒があるようです。

当日朝10時に近鉄大和八木駅に集合。毎回主要駅からの乗車時刻と集合地到着時刻を知らせて頂き幹事の方々の細やかな心遣いに、いつも感心させられます。

さて、八木駅を出発し市内を通り抜けて市民の憩いの場らしい耳成山公園へ。ここが標高60mなので山頂まで80mの高低差。幹事の方の勧めで階段を一気に登るのではなく、ゆるい坂道をのんびりと進むことに。

頂上からの眺めは木が生い茂り、期待はずれでしたが、昔は藤原宮が一望できたのではないのでしょうか。意外なことに、この山は同じ奈良県にある二上山、若草山と同じく神代の噴火山だそうで、盆地の陥落などで低くなったものの、端麗な山姿なので古代から天神山と仰がれていたそうです。



耳成山登り口

山頂近くの山口神社は、正倉院の天平税帳にも登場する由緒正しい神社との事でした。

次に藤原宮跡へ。唐の長安を模した最初の都である藤原宮の跡は広大な敷地に、建物跡を示す敷石と円柱が建てられていました。

ここで昼食となりましたが、参加者のみなさんはお酒が好きな方が多く、事前案内に「お酒と飲み物は途中で買えます。」との注釈があるほどで、昼食と共に直前に入手したお酒、持参したワインで酒盛りが始まり、出発の頃にはほろ酔い気分。二つ目の天香山に登ったのは8名。5名は資料



耳成山山頂



登山道

館の見学となりました。

天香山の頂上には、古代には国見の地だったとの事ですが、期待した程の眺望ではなく残念に思いました。麓には素朴な天岩戸神社があり、何だかホッとしました。

田舎道をブラブラ歩いて畝傍御陵前駅に着いた時には、誰も畝傍山に登る元気がなく、ここで解散することになりました。

この会は、はじめてお目にかかった方でもスーと、とけこめるとても和気藹々とした会で毎回楽しみにしています。皆様も一度参加してみませんか。



天香山を目指す

春のゴルフ

第26回ゴルフコンペ

初めて平日開催

田底 成智(55期)

恒例のゴルフコンペは、皆様のご要望に応じて、初めて平日開催(5月15日の水曜日)いたしました。

清々しい5月の好天の下、10名のゴルフ愛好家が、名門の六甲国際ゴルフ倶楽部にて楽しい一時を過ごしました。39期の中村利明様に予約を取っていただきました。

土日は、とても予約がとれないコースです。平日開催のメリットです。さらに、中村様のご威光でかなり割安でプレーできました。

コースの印象は、まず、美しいということでした。6月に女子プロゴルフのトーナメントが開催されることもあり、非常に良い状態でした。そして、広いというこ



優勝した藤田さん

とでした。私のようなへぼゴルファーには大助かりでした。(にもかかわらず、何回かOBしましたが。)さらに、グリーンがポテトチップのようでした。途中からどこを向いてパットするか分からなくなるほどでした。(私だけでしょうか。)

結果は、優勝は、ネット74で35期の藤田克雄様、準優勝はネット76で45期の熊野裕治様となりました。それぞれ、43期の安田好幸様が吟味された「神戸牛専門店味鉄」特製のステーキ肉、すき焼き肉を獲得されました。



後列右から4番目田底さん

◆お詫び◆
当初4月6日(土)に予定していましたが、天気予報で大荒れの天気になるとのことでした。これまで大雨でも決行してきましたが、安全を考え今回初めて翌週に延期しました。ご参加できなかった方にお詫び申し上げます。(幹事)



昼食風景



天の岩戸神社



天香山 山頂にて

片山 啓

院長 片山 啓(48期)

〒657-0846 兵庫県 神戸市灘区岩屋中町4丁目 2番7号
TEL 078(802)5990 神戸市委託 病児保育室プエリ 併設

医療法人

なかじま整形外科

●リウマチ科 ●リハビリテーション科

院長 中 嶋 洋 (49期)

〒569-0814 高槻市富田町3丁目1番10号
☎ 072-690-3230 FAX 072-690-3231

第20回 日 帰 り 旅 行

2013年1月27日(日)
於 城 崎・佐 津

主役は38期のかにツアー
青柳 充彦(38期)

関西支部があるのを知り、初めて総会に出席したのが平成9年、そして11年と、38期の出席は私だけで寂しい思いをしました。12年には、関西在住の同期全員に誘いの手紙を書きましたが、反応はもうひとつ。山城君はゴルフの方に力が入っていたかな？それでもだんだんと増えて、23年からは5人揃うようになり、昨年暮れにはつちり初めて忘年会に発展、ジャンカラも楽しめました。

さて、2回目のかにツアーは、1人所用で4人掛けシートにピッタリ。今年は参加者が16人と少なかったのですが、最大のプレゼンスを誇り、アルコールも入って、大いに盛り上がりました。

佐津駅から迎えるバスに乗ったと言いつつも「源助」に到着。幹事の挨拶もそこそこに「いざ出陣」。かには茹でる程旨みが出汁に溶けてしまうので、中心部が生かすやぶしやぶと、焼きがにが一番ですが、ありったけのかにをいっぺんに鍋に放り込む御仁がいて、びっくりでした。それでも家



佐津駅にて



雪の城崎駅

で食べる冷凍の輸入物とは比べものにならない甘さ。来年が待ち遠しい！えっ？かにカニ合戦の真ん中？これは失礼。昨年は、香住の大乗寺に行くために、雑炊もそこそこでバスに飛び乗りましたが、今回はおかわりも出来て満腹。満

数日前から裏日本に大雪の予報があり、去年の城崎温泉めぐりで溶けたシャベットの雪に悩まされたせいもあってか、皆足元を固めて参加。ところが、丹波からずっと銀世界だったのに、温泉め



源助での支部長挨拶

故郷下関のスポット紹介

川端 重隆(44期)



下関駅前

大阪から下関に戻り、4年半が経ちました。改めて下関を再発見で歴史の表舞台と成った源平壇ノ浦の合戦、宮本武蔵と佐々木小次郎の巖流島の決闘、高杉晋作による騎兵隊の結成、四カ国艦隊砲撃事件、晋作の長府功山寺での挙兵と、日清講和会議の春帆楼、坂本龍馬が愛妻お龍と共に暮らした地をめぐり、自然環境に恵まれた街でした。

小忠太の長男として生まれる。1863年5月尊皇攘夷の先頭に立つ長州藩で幕府の攘夷の布告で第一次から第五次までの敗北で、藩主(毛利敬親)の要請で騎兵隊を創設した。1864年8月に4ヶ国(英・米・仏・蘭)の連合艦隊が来襲、下関の前田に上陸して占領、大敗北した。なお晋作が講話全権大使として交渉にあたり、和議が成立。その後1864年12月に倒幕へ統一するため、長府功山寺で伊藤博文など80人程で挙兵した。1866年第二次幕長戦争で、西国諸藩の出兵による幕府軍12万に対し長州は5千足らずの兵で勝利。その勝因は長州藩が早くから洋式軍備を整えていた。それは、坂本龍馬の尽力で薩摩藩の名義で購入していた事による。しかし1867年4月14日に晋作は、新地町の林算九郎宅の離れで肺結核のため死去。27歳8ヶ月の生涯で維新の英傑として称えられています。



毎度の蒸しガニ

ぐりの道に雪がない。去年一の湯の人に雪を見ながら温泉で最高と言ったら、雪は、見たくもありません、と叱られた。今年は何と声をかけようか？温泉往復が予定より早く済んだので、駅前のレス



待ち遠しいカニ鍋

トランで地ビールの乾杯。帰りの特急コウノトリ24号で、またまた乾杯。38期は4月もお花見で乾杯の予定。

おいしさの感動をお伝えする!!

黒毛和牛専門店

(神戸ビーフステーキ、しゃぶしゃぶ、焼肉)

(株) 味 鉄

(直営レストラン)

・舞子・三宮・本山・西宮 等神戸一円10店舗

・(東京)赤坂店

日本一の神戸牛で、ゆっくりグルメの世界をお楽しみ下さい。

お中元、お歳暮には地方発送もいたします。お気軽にご相談下さい。

常務取締役

舞子店長

安田 好幸 (43期)

舞子店 神戸市垂水区東舞子町2-21(JR舞子駅すぐ)

TEL 078-783-3520 アドレス <http://www.k-wind.ne.jp/ajitetsu/>

阿武山こどもクリニック

院長 岡 本 良 三 (46期)

〒569-1041大阪府高槻市奈佐原2丁目3-22

TEL072(690)3225 FAX072(690)3226

まぼろしの西高応援歌第三番



中村 栄一 (44期)

私が西高3年生の時のクラスには野球部員が3人いたので卒業写真には当時マルハ通りにあった甲子園というパチンコ屋の前で撮り、これに添える一文は『何時か行きたい甲子園：何時も行ってた甲子園』はどうだろうと提案しました

が、かなりのクラスメイトが賛同してくれたもののやはり悪ノリが過ぎると却下されてこの案は実現しませんでした。

私のカミさんの母校は米子東高娘の母校は郡山高、どちらも高校野球では公立の雄と言われる強豪校で、15年前には甲子園にも出ました。「米子東と郡山と対戦したらおとうさんどうする?」と娘に尋ねられたので「ネット裏で黙って観戦かな? いや西高だって甲子園に出たことはある。近いうちにアルプススタンドで西高応援歌を歌うのだ」と答えながら未だ実現していません。関西に住む私たちにとって甲子園は指呼の距離にあるのに『何時か行きたい甲子園』が続いているのです。

米子東高も郡山高も甲子園では、旧制中学からの伝統を受け継いだ勇壮な応援歌を歌います。

24期の伊藤先輩が創られた西高応援歌は米子東にも郡山にも負けない名曲ですが勇壮さでは負けています。前に聳ゆる風師山嶺より高き理想持て：俺たちの理想って標高400mにも満たない山と比肩するくらいのものでしたのか! やがて奪われ勝利の火：俺たちの勝利の火はいつ? 試合は謙譲の美德なのか自分の実力を悟っているのかな? やがてやがてと歌い

ながら我が母校が甲子園から遠ざかって既に61年、生きているうちにアルプススタンドで応援歌を歌いたいと思っています。

伊藤先輩が創った応援歌は大切に歌い継がれて行くべきでしょうから、一番二番の歌詞は永遠にそのままにしておき、もう少し勝てそうかな? 三番の歌詞を新たに創ったかどうか考えております。

提唱した私が原案を示さないと無責任なので、私が創った三番の歌詞を紹介します。

「四海まぢかに見下ろせる旭陵の地に我ら起つ長城海に連なりて長門場関に沸き上がる：今ぞ奪われん勝利の火我が西高の意気見せん見せよ見せよ我が西高」

東京から見た旭陵関西



山田 浩幸 (56期)

平成23年の秋から東京勤務となり、単身赴任しておりますが、本年4月の人事異動で大阪に帰任となりました。

大阪では、旭陵同窓会関西支部の幹事の一人として、色々なイベント(旭陵関西ゴルフ、春・秋ハイクング、日帰り旅行等)の計画や実施に携わり多くの先輩・後輩との絆を深めることができました。東京でも多くの先輩・後輩が活躍しており、総会では500名を超える動員がある巨大な組織となっています。個別にコミュニケーションはあるのでしょうか、年一回の総会と定期的なゴルフコンペが主な活動でした。その中で、同期には、とても親切にしてもらい、転勤時や同期の東京出張に合わせ

末光君 有難う

内藤 尚(31期)

3月15日午前8時過ぎ、末光君の奥様から「主人が今朝5時過ぎに亡くなりました」と電話があった。驚いた。2月21日偶々、末光君に電話をかけた。「入院中」とのこと。23日、近大南大阪病院(生駒市)に見舞いに行った。正午までの1時間彼と話した。元気で、変わったところは見当たらない。入院したのは、「立っていた時に意識を失い倒れた。その際、小脳を打ち痛めた。小脳に腫瘍があるようだ。」と言っていた。6年前に彼は此処で胃癌の除去手術をした。この時も見舞いに来た。腫瘍は癌の転移かと疑ったが、彼には聞けなかった。

生駒郡「平群野菊の里斎場」でた不定期の飲み会やゴルフコンペなどで楽しく交友を交わしました。東京から見ると、旭陵関西でのイベント開催は、少人数ながら、年代を超えて「関中・西高」というキーワードで先輩・後輩が集うという大変すばらしい行事であるところから痛感しました。さて、一年半という短い単身赴任生活でしたが、大阪に帰任して、本社と西宮名塩道路(国道176号改良)のメカネトンネル工事の現場兼務(技術担当)を命じられ、二足のわらじで奮闘しております。

旭陵関西も上村支部長の下、新体制での活動となりました。微力ですが、これまでも増して、旭陵関西の活動に積極的に参加したいと考えております。

旭陵同窓会関西支部役員

	期	氏名	電話番号	勤務先
支 部 長	48	上村 繁典		誠商会
副支部長	43	門田 宰		自宅
幹 事 長	52	永地 英仁		帝人フロンティア
副幹事長	54	阿部紀一郎		大阪ガス
事務局長	53	大野 浩史		SMBCサービスサー
会計監査	45	唯岡 和夫		ダイハツ工業
会 計	64	柴田 徹也		ブルデンシャル・ジブラルタエージェンシー
常任幹事	49	中嶋 洋		なかじま整形外科
同	50	来島 達夫		JR西日本
同	55	田底 成智		中央復建コンサルタンツ
同	56	山田 浩幸		鴻池組
同	56	中谷 幸一		オンワード・パーソナル・スタイル
同	57	川野 博義		日建設計
同	58	新田浩二郎		大林組
同	58	中山 英顕		TOTO
同	59	金谷 睦子		カフェミント
同	62	三戸 和子		自宅
顧問	27	空谷 俊和		自宅
同	31	内藤 尚		自宅
同	33	安野 洋一		自宅
同	44	竹内 正文		関西文化学術研究都市推進機構

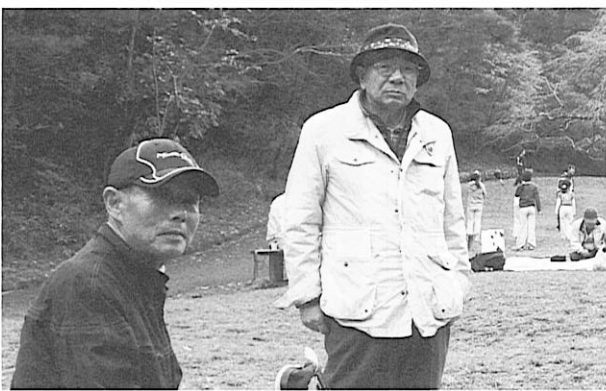
関西支部事務局

大野 浩史

16日お通夜、17日11時から葬儀が行われた。両日とも旭陵同窓会会員も10数名参列した。葬儀には杉前支部長も参列した。彼の見納めの顔は見舞いのおかげと同様若々しく穏やかであった。

漬物にし、ハイクの昼食時皆に配給。皆楽しみにして喜ばれていた。10年前か、彼を大仏のお身ぬぐいに誘った。帰り、是非畑を見て欲しいと案内された。大きいスイカを2ケもらった。美味かった。彼は同窓会を心から愛していた。末光君。有難う感謝しています。

合 掌



末光君と筆者(右)

お知らせ

末光 久氏(44期)
2013年3月15日逝去
甲斐 敏晴氏(31期)
2013年6月9日逝去

第27回ゴルフコンペ

日時 10月19日(土)

第23回ハイクング

日時 11月17日(日)

日帰り旅行

日時 来年1月26日(日)

編集後記

関西支部の総会は今年で20回目になります。残念ながら出席者数は、毎回120人前後から増えていません。19年の間に、職場の転勤で出入りされた方、定年で下関あるいは定住の地に帰られた方も居られます。昨年初参加の方も数人、是非常連になっていただきたいと思います。

関西支部創立以来役員として活躍されてきた末光久さんが3月に逝去されました。私は同窓会でお付き合いを始めて以来仕事上でも、末光さんには大変お世話になりました。本当に残念で淋しいことです。末光さんのご冥福をお祈り申し上げます。

「旭陵関西」18号、無事発行できました。ご寄稿有り難うございます。新しい仲間からの、新しい情報をどんどん投稿いただきたいものです。広告、以前12面構成で17件広告を頂いた時期もありました。今回は10件です。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

寄稿原稿は出来るだけそのまま記載するようにしてきましたが、今回どうしても紙面の都合上、短縮する必要が出てきました。自分で一度書いた文書を削ることは大変難しいことです。書きたいことを書いたわけですから、無理矢理短縮すると、思っていることが十分表現できません。無理をお願いした方には申し訳ありませんでした。また、本人の了解を得ず、短縮した文もごさいます。本当に申し訳ありません。

内藤先輩から編集を引き継ぎ、今回が10回目の会報発行になります。そろそろ次の代に引き継ぐ頃かと思っています。(門田)